

「相模原市外郭団体改革推進計画の改定（案）」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

市民ニーズが多様化し、新しい公共サービスを形成する必要がある中で、公共性・公益性と企業性を併せ持つ外郭団体に期待される役割は一層大きくなっており、今後も外郭団体が存在感を発揮し、公益的使命を果たすことができるよう、令和3年4月に令和9年度までを計画期間とする相模原市外郭団体改革推進計画を策定しました。

社会経済情勢等の変化や相模原市外郭団体経営検討委員会から提出された建議書等を踏まえ、令和6年度から令和9年度までの計画後期における各外郭団体の改革の方向性及び取組項目を定めるため、本計画を改定することとしました。

この度、本計画の改定に当たり、市民の皆様からのご意見を募集いたしました。

その結果、7人の方から7件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

なお、いただいたご意見につきましては、今後の取組に生かしてまいります。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和5年12月15日（金）～令和6年1月22日（月）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

※ 資料の配架場所

経営監理課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・中央6地区・大野南を除く）、各出張所、各公民館（星が丘・沢井を除く）、各図書館、市立公文書館

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		7人（7件）
内 訳	直接持参	0人（0件）
	郵送	0人（0件）
	ファクス	2人（2件）
	電子メール	5人（5件）

(2) 意見に対する本市の考え方の区分

ア：計画案等に意見を反映するもの

イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの

ウ：今後の参考とするもの

エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目	件数	市の考え方の区分			
		ア	イ	ウ	エ
公益財団法人相模原市産業振興財団に関すること	7		7		
合計	7		7		

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
1	<p>ものづくり補助金及び事業再築補助金において、多大なる援助をいただき職員の方の助言無くしてこれらの補助金は採択されなかったと言っても過言ではありません。</p> <p>又、各種セミナーは大変有意義で、参加して良かったです。</p> <p>そして職員の方が当社へ来ていただきますので、出向いて色々教えてもらう事もなく大変助かっています。</p> <p>なので、現在のままの役割を是非とも引き続き実行してもらいたいです。</p>	<p>市内中小ものづくり企業への個別訪問による経営課題の発掘と解決に向けた相談事業を今後も継続するとともに、支援先及び支援対象業種の拡大について検討してまいります。</p> <p>こうした中小企業支援施策を充実していくためにも、総合的で強力な地域経済の振興・支援体制の構築が必要であることから、市と相模原市産業振興財団、他の産業支援機関の役割や機能を明確にした上で、最も適した効率的・効果的な事業推進体制を構築してまいります。</p>	イ
2	<p>相模原市産業振興財団には、補助金申請やその他会社の支援を多く頂いているので、そのまま残していただきたい。</p>		
3	<p>産業振興財団はそのまま独立した組織のまま存在する必要があると思います。</p> <p>理由:結論、気軽に、真剣に、相談ができ、実際に動いてくださる方々がいる組織は、どこかと合併して動き</p>		

	<p>づらくなるより、より機動的に動ける組織のままでいてほしいと願います。</p> <p>現状私は相模原市で事業を営んでおります。始めた当初、何をしたらいいか、わからない時に相談に乗っていただいたのが産業振興財団のみなさまでした。</p> <p>出会いのきっかけは、地域プロデューサー講座でありました。</p> <p>若造の私にも●●さん●●さんを始め、親身になって相談に乗ってくださり、何より人脈を活用して、実際に動いてくださった結果、事業が前に進んだり、とても助かりました。</p> <p>このことから、より親身に気軽に相談してくださる現時点の体勢を引き続き願います。</p>		
4	<p>市の産業政策について、現場で具体的に案内していただいているのは、産業振興財団の相談員の方です。弊社のような人的リソースが豊かではない中小企業にとって、市の政策を能動的に取得し、解説し、対応することは非常に困難であり、その点において、産業振興財団の相談員の方の活動は非常に助かっています。</p> <p>また、各種補助金のサポートについて、補助金申請にかかるリソースは、不採択の場合、人的にも資金的にも非常に重い負担となるため、自力で対応するには二の足を踏んでしまいます。その点、産業振興財団において、各種補助金の相談や指導を無償でサポートいただけることは、補助金申請に向けた力強い後押しとなっています。その指導により得られた補助金に支援されながら、</p>		

	<p>次の飛躍に向け、事業運営を頑張っています。</p> <p>相模原市産業振興財団の活動は、非常に有意義であると実感しています。</p>		
5	<p>公益財団法人相模原市産業振興財団様に創業時からサポートいただき、市内企業との接点も創出頂きました。</p> <p>私自身、東京や各地で活動した後に相模原で起業しましたが、地域でのつながりが皆無の状態から当団体様のおかげで新たな事業を実現することも出来ました。また、行われるセミナーは休日や朝早くにも関わらず多くの経営者が詰めかけ、満員の事があります。</p> <p>当団体は相模原の各企業でのウィークポイントを今後都内の代理店やコンサルティング会社が補うのではなく、相模原市内でよいご縁をつなぎながらそれを補う事が出来る場所になっていると感じます。統合により、この流れが薄くなってしまふのを危惧しています。</p> <p>今までお世話になっておりますので、弊社の方でも会社を運営しながら当財団様のお力になれる事や、相模原市内の各企業様との新たな事業の創出をより目指していきたいと思えます。</p> <p>なかなか数字には見えない独自性もございますので、慎重な検討を望みます。</p>		
6	<p>これまで受けられた支援の内容（無料での直接訪問や展示会出展、設備投資の市の補助金）を同じ内容で継続して受けられることを強く希望します。</p> <p>直接訪問による、企業の困りごと</p>		

	<p>やニーズの把握を親身になって話を聞いてくれています。内容によってはその場で解決してくれたり、解決の道筋を示してくれたり、相模原市に工場を立ち上げて7年たちますが、事業を進めるうえで非常に助かっています。</p> <p>また、小さな事業所では展示会出展は金銭的に敷居が高いイベントで、自社負担だけではできなかった出展が相模原市の支援により可能となりました。今年2月の展示会にも相模原市の合同展示として出店させてもらいます。展示会出展による反響もあり、手ごたえを感じています。</p> <p>今後も相模原市産業振興財団から上記の支援を無料で継続して行ってほしいです。金銭的負担が発生したり、これまでの親身な支援が受けられなくなると小さな会社では心理的にも金銭的にも負担となります。</p> <p>昨今の社会情勢や先の見えない不安から小さな企業も含めて製造業全体で元気がありません。踏ん張りどころがずっと続いています。相模原市には、そのような企業が前に進めるような支援施策を期待します。</p>	
7	<p>当社は、相模原市にて、物づくりを主とした、会社です。</p> <p>主に自動車、バイクの用品を製造販売しています。</p> <p>同市内で、同様に物作りをしている会社は、沢山ありますが横のつながりは、同業者以外は、難しく、色々不便を感じておりましたところ、公益財団法人相模原市産業振興財団の皆様が、常日頃からお力になっ</p>	

	<p>て頂き、我々中小企業の特に、相模原市内での必要性を感じます。</p> <p>又、中小企業の支援はなるべく税金で賄っていただくのがどのような形であれ、良いと思います。</p> <p>私どものような中小企業の声が少しでも届いて頂けたらと、提出させていただきます。よろしくお願い致します。</p>		
--	--	--	--